

10月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/10/01 (水)	東京は日銀短観の悪化に加え、米金融安定化法の再可決期待が高まるも日本株が冴えず行って来い。欧米は米経済指標が冴えずリセッション入りが増し、ドルの足かせ要因に。またユーロも対円では冴えず。	・米大統領が自動車メーカー向け250億ドルの補助金を承認 ・9月日銀短観大企業製造業DI 3 ・9月の米ADP全米雇用報告 0.8万人、同ISM製造業指数43.5、8月の建設支出0.0%	・ユーログループ議長「EU各国政府は大手銀行を破綻させない」 ・下院報道官「上院案を微修正し3日に再発表」 ・一部報道「バークシャーがGEへ30億ドルの出資実施」	106.01 106.54 105.33 105.70	149.69 150.58 147.53 148.08	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/02 (木)	東京は円独歩高の様相。WSJ紙の報道が嫌気されたほか、日経平均の弱さも円買いを支援。欧米はECB金利据え置きは予想通り。しかしトシエ総裁の発言が予想よりも弱くユーロは対円などで統落へ。	・SECが空売り規制の延長を発表 ・ECBが政策金利据え置きへ ・8月の米製造業受注 4.0%	・マウミク米財務次官「G7では世界の金融市場の混乱が焦点」 ・WSJ紙「FRBは米景況感悪化などを受け追加利下げに傾いている」 ・ECB総裁「本日の会議で利下げの選択肢も協議」	106.10 106.29 105.09 105.32	148.41 148.50 144.88 145.54	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/03 (金)	東京は株価にらみの展開となるなか米雇用統計発表前の調整の動きからドルは小じっかり。欧米は米雇用統計悪化や米株安を受けてドル下落、法案の議会議場では織り込み済みで材料視されず。	・9月の米失業率6.1%、同非農業者部門雇用数 15.9万人、同ISM非製造業指数50.2 ・米下院で金融安定化法案可決	・フランチワリ-BOE委員「来週のBOE委員会でも利下げを要請」	105.00 106.15 104.48 105.32	144.76 146.86 143.98 145.05	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/06 (月)	東京は株安が予想外の利下げとなったこともあり円が急騰。また欧州首脳会議への失望からユーロ安。欧米は信用危機拡大懸念から米株は急落。円は大幅統伸。ただ協調利下げ観測で終盤持ち直し。	・週末に欧州首脳会議実施、ただ具体策は出ず ・独とポリアの救済策再検討報道、その後500億ユーロの支援策発表 ・NYダウ暴落、10000ドルの節目割り込む	・伊の報道「欧州当局は金融市場安定化へ向けて声明を準備中」 ・欧州委員長「銀行支援、預金保護において必要なあらゆる措置をとる」 ・一部報道「仏が緊急G8開催を提案」	104.57 104.67 100.22 101.80	142.69 142.95 135.05 137.46	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/07 (火)	東京は豪州が予想外の利下げを実施、それを好感した動きから前日から流れ一変し、円は独歩安へ。欧米はCP購入制度創設を好感し一時ドル買い先行。しかし米株が大きく下落したため終盤伸び悩む。	・豪州が1.0%の大幅利下げ実施 ・日銀が金利据え置き決定 ・FRBがCP購入の制度を創設 ・モルスタ、三菱UFJ提携頓挫報道も ・BBCなどが英銀への資本注入等の救済策を発表、水曜日発表が	・スミキ ECB専務理事「インフレの重要性が以前より薄れている」 ・BBC報道「英銀数行が資金支援を政府と協議中」 ・FRB議長「成長見通しは悪化、連銀は金利スワップの変更検討」	101.59 103.30 101.06 101.50	137.32 141.08 136.64 137.94	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/08 (水)	東京は日経平均が1000円近い下げを記録したこともあり、ドル/円は100円割れ。欧米は協調利下げや米株先物の急騰もあり円売りへ。ただ株安は結局マイナス圏へ軟化し、為替も円高。	・香港が0.5%の利下げ実施 ・第2四半期GDP改定値 0.2% ・FRB、ECB、BOE、BOC、SNB、スウェーデン中銀が0.5%の協調利下げ ・8月の米住宅販売保留7.4%	・英財務省「銀行に金融支援を実施する」 ・ECB総裁「いつでも必要に応じて追加措置を行う」 ・米財務長官「金曜日の午後にG20会合を要請」	101.30 101.60 98.60 99.13	137.48 138.76 134.15 135.33	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/09 (木)	東京はNYタイムズの報道を好感。またアジアでも協調利下げの流れが続く円は再び全面安の様相に。欧米は円統伸してスタート。しかし空売り規制の解除で米株が600ドルを超える下落となり、再び円高へ。	・8月機械受注 14.5% ・香港が再び0.5%の利下げ ・台湾と韓国が0.25%の利下げ実施 ・8月の米卸売在庫0.8% ・空売り規制解除で米株大幅統落 ・S&PがGM等を格下げ方向見直し	・NYタイムズ「米財務省、大手金融機関に公的資金投入を検討」 ・スイン中銀総裁「追加利下げの可能性排除せず」 ・独首相「銀行支援のためどんな措置も排除せず」	99.78 101.49 99.50 99.85	135.83 139.70 135.35 135.85	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/10 (金)	東京は依然として株価動向に左右される展開。800円を超える株安を嫌気し円は統伸。欧米は乱高下したものの、G7に対する期待感が勝り、終盤にかけてはドルの買い戻しが優勢だった。	・日銀金融政策議事録要旨「回復時期後ずれ意識する必要」 ・大和生命が破たん ・日経平均が881円の大暴落 ・8月米貿易収支 591億ドル、対日 47.7億ドル、対中 253.3億ドル	・WSJ「米政府、一時的な全銀行の預金保護、債務保証を検討」 ・米大統領「あらゆる手段を用いる」 ・ホワイトハウス「米市場を停止する計画はない」	99.05 100.72 97.91 100.62	134.34 136.38 132.15 135.02	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/13 (月)	東京は体育の日で休場、アジアは週末G7に対する失望から再び円買いへ。ドル/円は100円割れ。欧米はG7行動計画に対する一定の評価などでNYダウが900ドルを超える暴騰。為替も円売りへ。	・週末G7、EU首脳会議等で「金融機関への資本注入」を大筋合意 ・英大手3行に公的資金注入 ・欧州3中銀が固定レートによる米ドル資金供給の「実施を予定、FRBなど4中銀が米ドルスワップ協定を増額	・スミキ ECB専務理事「1.55ユーロは高すぎた水準」 ・仏大統領「いかなる銀行も破綻させることはない」 ・セントスBOE委員「英経済は深刻な低迷に直面する可能性」	100.76 102.20 99.56 102.02	137.04 138.80 134.20 138.53	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/14 (火)	東京は日経平均が1000円を超える史上最大の上げ幅を記録。為替は一時103円台へ。円は統落した。欧米は期待された欧米の株式が冴えず、とくにNYダウは小幅マイナスで引けたことで円買い優勢。	・9月の国内企業物価指数 0.4% ・10月の独ZEW景況指数 63.0 ・日経平均が最大幅の1171円下落 ・米政府がG7行動計画に従う包括的金融危機対策を正式発表 ・日銀が臨時決定会合を実施	・米政府筋「FDICによる預金保護の上限一時撤廃」 ・豪首相「104億豪ドルの景気刺激策を発表」 ・日銀「FRBとのドルスワップ、引き出し限度額を撤廃」	102.64 103.06 101.50 102.10	140.19 141.74 138.50 139.06	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/15 (水)	東京は地区連銀総裁が米景気後退発言をしたことで結果として円高。日経平均は99円と小幅統伸。欧米は発表された米経済指標がこぞって弱くドル売り材料。また米株は大幅統落となった。	・8月の経常収支988億ドル ・9月の米PPIは 0.4%、同小売売上高 1.2%、10月NY連銀指数 24.6、8月の企業在庫0.3% ・米地区連銀報告「全12地域で経済活動悪化」	・SF連銀総裁「米経済はリセッション局面にあるようだ」 ・SL連銀総裁「金融市場の緊張で景気低迷が長引く恐れ」 ・FRB議長「信用ひっ迫の解消には時間がかかる」	101.58 101.93 99.87 99.95	137.76 138.96 134.78 134.93	24H 寄付 安値 高値 終値

\* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで